

レジ袋を断って

マイバッグでお買い物

私たちは1年間に1人で300枚のレジ袋をもらっています。日本全体では313億枚。これだけのレジ袋を作るのに使用する石油の量55万8千klは、日本が輸入する原油のほぼ1日分に匹敵します。

レジ袋をごみとして焼却すれば地球温暖化の原因になるCO²が発生します。また、容器包装プラスチックとして分別収集すれば、圧縮、保管、運搬などで多大な経費がかかります。

ただでもらっているレジ袋も、実は製造、廃棄の過程で多くの経費がかかっているのです。やはりリデュース（ごみを出さない）が一番大切です。

貴重な資源を節約し、CO²を抑制するため、買い物はマイバッグを持って出かけましょう。

男性のかたも、小さく折りたたんだレジ袋をポケットにひとつ入れておけば、仕事帰りのちょっとした買い物も用が足せます。

資源循環型のライフスタイルは「無駄なものはもらわない、家庭に持ち込まない」ことから始まります。

みなさんの御協力をお願いします。



スリーアール
3Rとは

リデュース (Reduce)

できるだけごみを出さない。

リユース (Reuse)

容器などをくり返し使う、詰め替え商品を選択しましょう。

リサイクル (Recycle)

ガラス瓶やアルミ缶などを資源として再生し利用する。

事業者の方へのお願い

愛知県では、レジ袋辞退率50%以上を目標とするレジ袋削減取組店の登録を始めています。

レジ袋削減は限りある資源を大切に、地球温暖化を抑えるビジネススタイルの第一歩です。

ぜひ取組店登録をしてお協力いただきますようお願いいたします。

▼問合せ 産業建設部 産業環境課
内線276



扶桑町 産業環境課

愛知県ごみゼロ社会推進あいち県民会議